演習 4 気体の法則 演習 1

気体定数 R=8.3×10³ Pa·L/mol·K とする。原子量 N=14,O=16 とする。

- (1) 次の(a)~(c)の問いに答えよ。
 - (a) 0°C、1.01×10⁵Pa の理想気体 1.00mol の体積は何 L か。
 - (b) 27℃、2.0×10⁵Pa の物質 A (分子量 18) の理想気体の体積が 2.0L であった。このとき、物質 A は何 g あるか。
 - (c) 27Cの温度下で2.0Lの容器に物質Aを入れたところ、すべて気体になり 2.0×10^5 Paであった。 その後、外部から加熱すると、 3.0×10^5 Paを示した。このとき、加熱後の温度は何 \mathbb{C} か。
- (2) 図(授業中に示す図)のような連結容器があり、左側を容器 A(4.0L)・右側を容器 B(2.0L)と呼ぶこととする。連結容器の中央コックは閉じられており、容器 Aに 1.4g の窒素・容器 Bに 3.2g の酸素を封入し、温度を 27 $\mathbb C$ に保った。(a)~(d)の問いに答えよ。
 - (a) 容器Aにおける窒素の圧力は何Paか。
 - (b) 容器 B における酸素の圧力は何 Pa か。

温度一定の下で中央コックを開き、十分に時間が経過した。

- (c) 窒素の分圧および酸素の分圧はそれぞれ何 Pa か。
- (d) 全圧は何 Pa か。
- (e) さらに、温度を 27 \mathbb{C} から 127 \mathbb{C} に加熱した。このときの全圧は何 $\mathbb{P}a$ か。

Comment

- (1) 難易度:1~2 温度の単位に注意すること。
- (2) 難易度: 2~3 Point:気体問題の解法を意識すること。